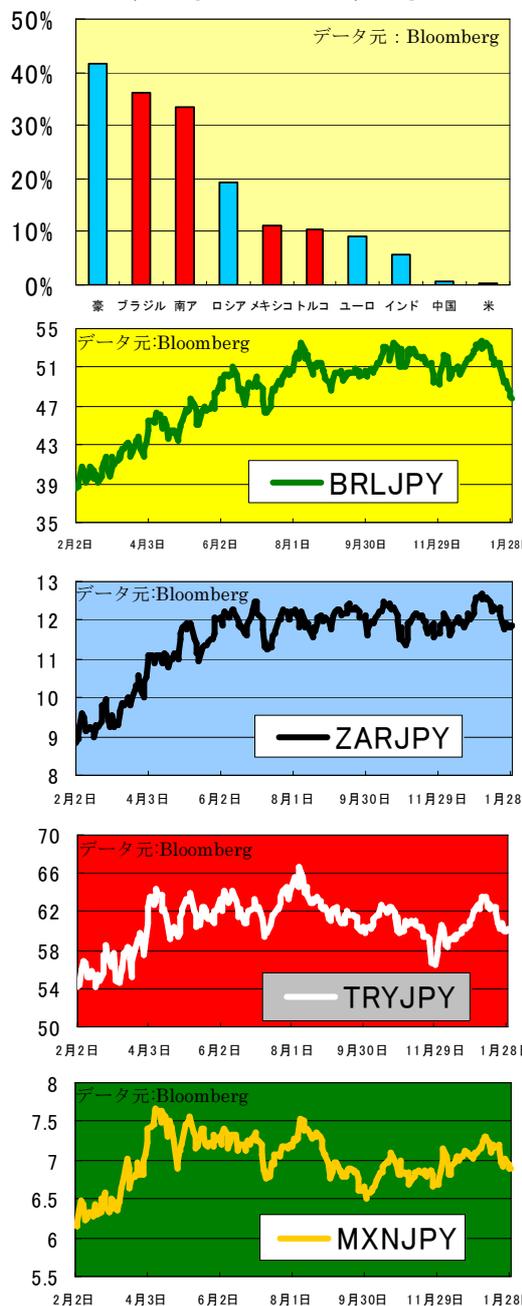




エマージング通貨の対円騰落率
09年2月2日～10年1月29日



直近の動向

1月は昨年末から続く景気回復期待から、世界的に株式、商品市場が堅調に推移し、高金利通貨、新興国通貨が選好された。しかし、市場の過熱を懸念して、中国やインドが金融引締に動き、さらに米国の金融機関への規制案やギリシャ財政懸念が重なり、リスク回避の動きとなった。通貨では、円が買われ、新興国通貨は売られたため、全体的に新興国通貨は対円で大幅下落となった。特にブラジルレアルは、1月高値から、約-11%と下落幅が大きかった。

ブラジル

27日に政策金利を8.75%に据え置き。国内のレアル高抑制の動きや中国、米国等の海外動向から、通貨レアルは月末にかけて大幅下落となった。しかし、失業率は過去最低水準に近づき、その他の経済指標もペースはやや緩やかになったものの景気回復を示しており、ブラジル経済の継続的高成長への期待は損なわれていない。今後、政策金利が引き上げられる可能性がある。

南アフリカ

26日に政策金利を7.00%に据え置き。貿易収支が黒字となるなど回復している経済指標も見受けられるものの、内需が依然として弱く、景気回復は緩慢なものになると見られている。W杯イヤーということや高金利通貨であることから、通貨ランドの下落は限定的だったが、月末には商品市場の下落やリスク回避の動きを受け軟調な動きに。海外動向や利下げ懸念から上値は重たいとの見方も。

トルコ

14日に政策金利を6.50%に据え置き。最近発表の経済指標は、経済活動がゆるやかに回復していることを示している。09年の財政赤字が予想より小さくなり、失業率等も少しずつ改善が見られている。先月のフィッチに続き、格付け会社ムーディーズがトルコ経済の底堅さやトルコへの資金流入が始まったことから格付けを引き上げている。IMFとの融資交渉の行方に注意が必要か。

メキシコ

15日に政策金利を4.50%に据え置き。メキシコ株式市場が2年3ヶ月ぶりに最高値を更新。失業率等改善している指標も出てきており、経済の先行きに明るい兆しが見えてきたという指摘も。通貨ペソは新興国通貨中で最も過小評価されている通貨の1つとされ、今後、米国景気回復が追い風となり、中南米通貨中で最高のパフォーマンスを見せると期待されている。

為替レート見直し



対円 (JPY)	10/02	10/05	10/08	11/02
米ドル (USD)	90	92	93	93
ブラジルレアル (BRL)	48	50	51	55
南ア・ランド (ZAR)	11.9	12.2	12.7	12.8
トルコリラ (TRY)	60	61	63	64
メキシコペソ (MXN)	6.89	7.05	7.30	7.52

この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2010年2月1日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
東京都中央区新川
一丁目21番2号
茅場町タワー
TEL: 03-5541-7887

京都支店 :
京都市中京区烏丸通
錦小路上手洗水町
659番地 烏丸中央ビル
TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
大阪市中央区南船場
一丁目18番17号
商工中金船場ビル
TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
名古屋市中村区名駅
三丁目22番8号
大東海ビル
TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
札幌市中央区
北一条西二丁目1番地
札幌時計台ビル
TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
埼玉県越谷市赤山本町
2番14号
越谷駅西口TRビル
TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
兵庫県宝塚市逆瀬川
一丁目11番1号
アピア2
TEL: 0797-77-7751